

基調講演 曾野綾子さん～人生のミーティング・ポイント～

続いて、作家の曾野綾子さんによる「人生のミーティング・ポイント」と題した基調講演が行われました。

御講演の中で曾野さんは、御自身が海外邦人宣教師活動援助後援会の活動を始めるきっかけとなった人生の出会い（「ミーティング・ポイント」）に触れながら、40年間の海外援助活動で感じた本当に援助が必要な方にお金を届けることの難しさ、人を助けるということが多くの教えをもらう貴重な機会となったこと、活動現場であったアフリカから多くを学んだことなどについて語られました。

また、最後に、このような活動で一番大事なものは、「受けるより与えるほうが幸いである」という精神であり、その精神が公益の基本であることについてお話しされました。



御紹介いただいたエピソードの一部

- ・ 韓国で公益活動に携わる神父から言われた「人を助けるという貴重な機会は独占せずに、多くの人に分け与えてください」という思想に感銘を受けた。
- ・ マダガスカルを取材で訪れ、知り合いの看護師に会いに行った際、そこには石鹸やミルクがなく、薬包紙の代わりに手紙を切ったものを使用しているなどの貧困状況を初めて目の当たりにした。このような状況に接し、現地のカジノで偶然手にしたお金等を寄附したことが海外邦人宣教師活動援助後援会の始まりであり、「ミーティング・ポイント」であった。
- ・ 海外で本当に援助が必要な方にお金を届けるには、奥地に入っている神父や修道女の方々に預けると本当に正確に使っていただける。現場にいるし、物が壊れたら直すというように大切にしてくれるし、援助後の状況を報告してくれる。これは日本の援助組織に対しても必要とされるものである。
- ・ コートジボワールで識字教育を行うための建物建設に対し援助した後、現地に行った際、その部屋の中が暗かったので、活動に取り組む修道女にランプを追加で買うことを提案した。しかし、学校を明るくすると生徒達の瞳孔が閉まってしまう、暗い夜道を何キロも歩いて帰ることができないことを教えてもらい、日本には分からない現地の実情を認識した。

（文責は公益認定等委員会事務局にあります。）